

授業改善等に関する報告書（2025 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2025（前期）国際学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Effective Communication b	三田 薫 シオティーノ, アン	授業では毎回たくさんの課題が出されましたが、皆さん頑張って、1冊完了できましたね。また「様々なエッセイの書き方について理解が深まった。」「英作文を作る力がついた。」など、ライティングの実力が付いたというコメントもありました。もっと話し合いやプレゼンの機会が欲しかったというコメントもありましたので、次回からその点を加えて改善していこうと思います。
Effective Communication b	三田 薫 マルチェフ, ミレン・アンゲロフ	<p>The results of this survey can be said to be positive overall. The students seem to have put in more hours of work in their weekly preparation than the average, which is obviously a good thing, while on the other hand the figure still falls below the university's stated goal.</p> <p>Furthermore, a bigger effort on the part of the instructor seems to be necessary in the areas of classes better reflecting the syllabus and the pace at which they proceed. This being the first time the course has been offered, the lessons drawn from the experience can hopefully serve to significantly improve the instruction in 2026.</p> <p>授業では毎回たくさんの課題が出されましたが、皆さん頑張って、1冊完了できましたね。また「ライティングのスキルが上がった。」「パラグラフ、エッセイの書き方を学べた。」「文章を考える能力が身についた。」「日本語を英語に置き換える作業が少しだけ早くなった。」など、ライティングの実力が付いたというコメントもありました。これからも学習を続けていきましょう。</p>
English Workshop a	三田 薫	アンケート結果で、「この授業を通じて、自身の成長が実感できましたか？」は4.86と高く、皆さんが意欲的に授業に取り組んでいることがわかりました。コメントでは、「オンライン英会話上にあるニュースから自分の意見を考え、講師と話すことができた。」「Notionの使用方法Google AIスタジオ、Gemini、チャットGPT、英作文添削サイトなど多くの学びを得ることができた。」など、難しいことにもどんどんチャレンジして、自分の目標を達成していることがわかりました。これからもこの学習をぜひ継続してください。
English Workshop b	グリーン, バーバラ	はじめは授業がうまくいっているか心配もしていましたが、最終的には学生の皆さんから高い満足度評価をいただいたことを嬉しく思います。
English Grammar	藤原 正道	基本項目の確認から、練習問題を用いた応用まで、英文法が身についたでしょうか。少しでも身につけていれば、幸いです。文法知識を身につけて、意識して作文や会話に応用して行ってください。今後、よりよい授業にしていきたいと思います。
English Grammar	藤原 正道	基本項目の確認から、練習問題を用いた応用まで、英文法が身についたでしょうか。少しでも身につけていれば、幸いです。文法知識を身につけて、作文や会話に応用して行ってください。今後、よりよい授業にしていきたいと思います。
English Grammar	藤原 正道	基本項目の確認から、練習問題を用いた応用まで、英文法が身についたでしょうか。少しでも身につけていれば、幸いです。基本の項目の確認、修得は、とても重要です。今後、よりよい授業にしていきたいと思います。
Speaking & Presentation a	エドワーズ, マイケル・アンソニー	This class had many top level 2nd year students who all improved their presentation skills and participated in class with a motivated attitude.
English Education for Children	グリーン, バーバラ	学生からはかなり満足との回答を得られました。来年はさらにインタラクティブな授業にしようと思います。
情報コミュニケーション論	グリーン, バーバラ	1名の学生から、説明が理解しづらかったとの回答がありました。来年は、もう少しゆっくり授業を進めようと思います。
英語学入門 a 月曜配信（渋谷）	藤原 正道	英語学、または言語学の考え方が身についたでしょうか。少しでも身につけていれば、幸いです。視聴や課題の提出を忘れた方が少なからずいたのは、オンデマンド型授業のアルアルなのでしょうか。今後、よりよい授業にしていきたいと思います。
英語発音論	藤原 正道	説明を理解する部分と、それを身につけて発音する、または歌う部分があり、100分では収まりきれないこともありました。しかし、皆さん一人一人の発音を毎回聞き、評価できたのは、大変でしたが良かったことです。今後、よりよい授業にしていきたいと思います。

【2025（前期）国際学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
国際文化論 a 水曜配信（渋谷）	小牧 幸代	国際文化論aは、1年生の前期に開講された必修のオンデマンド授業でした。出席は、毎回のリアクションペーパーを通して確認していました。しかし、リアクションペーパーは、出席確認だけでなく、理解度を確かめる手段でもありました。さらに、顔が見えないオンデマンド講義でありながら、みなさんの生き生きとした顔が思い浮かぶような大切なものでもありました。リアクションペーパーを読むことは、私にとって楽しみであり、励みにもなりました。とはいえ、アンケート結果を見ると、授業内容を十分に理解できた人とほぼ理解できた人を合わせても6割でした。動画のような受け身で視聴する講義だけでなく、もっと自分から積極的に取り組めるような工夫をすることで、みなさんの理解度が高まるようにしていきたいと思います(^^)／
国際社会学 a 水曜配信（渋谷）	寺本 めぐ美	配布資料がより分かりやすいものになるように工夫する。
国際関係論	寺本 めぐ美	配布資料がより分かりやすいものになるように工夫する。
日本文化論 a 木曜配信（渋谷）	コルネーエヴァ, スヴェトラナ	ご回答いただき、ありがとうございます。必修で、オンデマンドで実施された科目であり、履修に当たっては対面とは異なる難しさがあります。アンケートから、「日本文化についての理解が深まった。自分では気づかなかった魅力を知ることができた」ことや「様々な分野の日本文化について学ぶことが出来て、知らなかった知識を知ることとその物事への印象が変わりさらに学ぼうという考えができるようになり良かった」という趣旨のコメントが多かったことを嬉しく思います。 その一方で、履修生によっては、レスポンド課題を毎回出すことを忘れるなど、管理に悩むことが見受けられました。今後は授業の内容のみならず、進行方法や課題提出方法を工夫していきたいと思います。
日本語学入門 a 月曜配信（渋谷）	大塚 みさ	授業の理解度や分かりやすさ、真剣な取り組みを始めとして、概ね平均を上回る評価でした。オンデマンド授業にもかかわらず、双方向性授業の工夫の評価が特に高かった点をうれしく思いました。 毎週1本目の動画で前回授業の振り返りや、respon課題内容の共有を行いました。が、これについても好評で、「同じタイミングで履修している他の学生の考えが反映されていたので、動画ごしでも共に授業を受けている気分になることができた」「同じタイミングで履修している他の学生の考えが反映されていたので、動画ごしでも共に授業を受けている気分になった」といった声が寄せられました。今後もさらに対面授業にはないよさを盛り込んで、深い学びに繋がる授業を展開していきたいと思います。
海外の日本文学	大塚 みさ	授業の理解度や満足度など概ね良好で、皆さんの真剣な取り組みの成果がうかがわれました。また、自由記述も多数寄せられ、大変参考になりました。授業内容に関しては、オノマトペや性差、日本文学についての理解や関心が深まったという意見が多く寄せられました。また、グループワークでコミュニケーション力が培われたこと、資料読解力や意見を言語化してまとめる力がついたといった声が多く、みなさんの成長ぶりを感じました。グループ編成については、視野が広がった、楽しく学べたというプラス面の指摘が大半でしたが、グループワークが円滑に進まなかったグループもあったようでした。後者については、学期の途中でグループをシャッフルしてはどうかという提案があり、なるほどと思いました。 アンケートで得られた意見を参考に、次年度の授業を改善して行きたいと思います。
地域経営学入門 a	九里 徳泰	1年生には難しい経営学入門の授業でしたが、多くの学生が「まあまあ理解できた」以上でした。14回の課題レポートもしっかりと時間をかけて作成した学生が多かったです。就職先が企業である学生は多く、自分と企業経営のつながりをさらに深く追い続けてほしいと思います。授業の改善点としては注意はしましたが私語の指摘がありましたので、大きな教室ですが来年度以降「快適に学ぶことができる」クラスを徹底していきたいと思ます。
観光学入門 a 火曜配信（渋谷）	武内 一良	この観光学入門 a は学生にとって初めて学ぶ領域であり、かつ理論を中心とした内容ですので、オンデマンドによる授業は学生にとって難しかったことと思います。対面の授業ではこれまで通り教室に行くという習慣ができていますが、オンデマンドの授業はその自由さに流され自己管理ができないまま欠席を重ね「失格」となる学生が増加しました。学生の意識の問題ではありますが、来年度以降この科目を私より引き継がれる新任の先生と相談し、教員としても何ができるか考えていきたいと思います。
異文化コミュニケーション論 b 火曜配信（渋谷）	久保田 佳枝	アンケートにご回答ありがとうございます。この科目は1年次科目「異文化コミュニケーション論a」で学習した内容を定着させる目的としてデザインされたコースでしたので、コースの前半は復習問題に取り組んで頂きました。以前に学習した内容にもかかわらず問題が変わると正答を得られないケースも、残念ながら見受けられました。後半は異文化トレーニングの理論に基づき、演習およびケーススタディに取り組んで頂きました。回答や個別指導コレクションを通しての質問等により、奮闘しながら取り組んでいた様子が見て取れました。留学中に誤解や摩擦が生じた際、ぜひ、この授業で学習したアサーションやD. I. Eメソッド等を思い出して問題を解決へと導けるよう取り組んでみましょう。応援しています。

【2025（前期）国際学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ポライトネス論	藤原 正道	講義と演習の中間の形式で、調査・発表あり、敬語の練習や課題の提出もありと盛りだくさんの授業で大変だったことでしょう。頭で理解する部分と、身に付けて行動する部分を修得できていれば、幸いです。今後、よりよい授業にしていきたいと思います。
対人コミュニケーション論	久保田 佳枝	アンケートにご回答ありがとうございます。学科のカリキュラム上、系統的履修になっておらず、コミュニケーション学の応用編である異文化コミュニケーション論を学習した後に、基礎的な当該科目の履修となっておりますこと、お詫びいたします。この科目はコミュニケーション学の基礎科目として、講義科目ながらも多くの演習を実施しました。皆さんによる独自設問の回答とコメントを拝見し、演習を含めたことによって理解が深まり、また学習効果があったようで安心しました。またテキストに関しても、日本語のテキストが望ましいようですので、引き続き、こちらのテキストを使用するように致します。ご意見ありがとうございました。
集団・組織コミュニケーション論	久保田 佳枝	アンケートにご回答ありがとうございます。履修された多くの方が意欲的に参加してくださっていた科目であったと記憶しています。平常点に含まれる発言ポイント獲得に向けて、後方や隅の座席では発言しても聞き逃すという呼びかけに応じ、多くの方が授業回を重ねるごとに前へ前へと座席を移動し、コースの中盤からは前方に着席された方が多くなりましたね。各回の授業内容の密度が濃く、テストも難しくりましたが、多くの方々が高得点を獲得され、大変驚きました。皆さんが意欲的に取り組んでくださり嬉しく思います。この科目で見せて下さった意欲を、ぜひ、他の科目でも見せてくださることを期待しています。
多文化共生論 火曜配信（渋谷）	小牧 幸代	多文化共生論は、2年前期の必修のオンデマンド授業でした。海外留学を控えた2年生にとって、多文化共生は、とても身近で、自分事として考えなくてはならないテーマです。そこで、多文化共生という用語の生みの親でもある文化人類学という学問の歴史を遡り、文化相対主義、反文化相対主義、反反文化相対主義という理論の流れや、文化相対主義の応用系としての多文化主義、そして日本的な多文化共生について、具体的な事例をあげながら講義をしました。その際、関連のある新聞記事を多数取り上げ、みなさんに世界の情勢を、知識・情報として吸収してもらえるように努めました。ですが、海外留学をしている間、あるいは帰国してからのほうが、授業で学んだことをよりよく理解できると思います。これからも、図書館や新聞、インターネットなどで世界情勢について知識・情報を収集し続けていきましょう(^)/
国際経営学 水曜配信（渋谷）	九里 徳泰	国際経営学は、グローバル企業経営で最先端のサステナビリティ経営を学びました。本アンケートではよく理解できたという学生もあり、毎回のレポート課題にもしっかりと取り組んでいることがわかりました。現代企業は、ファイナンス、ガバナンスだけでなく、サステナビリティも必須です。今後ともサステナビリティの視点から企業や社会を見る目を持ち続けてください。
世界の民族と宗教	小牧 幸代	世界の民族と宗教は、国際学科だけでなく、他学科の学生も一緒に学ぶ授業でした。講義だけでなく、学生同士で学び合う時間を設けることで、自ら積極的に「分かりにくいテーマ」について調べたり教えたりすることができたと思います。現代における民族と宗教は、実際、非常に分かりにくいだけでなく、刻々と変化してさらに複雑化しています。みなさんは、これからも興味関心をもった「分かりにくい民族と宗教」について、最新情報を図書館や新聞、インターネットなどで調べたり、身近な人と話し合ったりして、分かりにくいものについて考え続けるということを、ぜひ継続してってください(^)/
海外文化事情 b	小牧 幸代	海外文化事情bは、東南アジア・南アジアの文化や事情について、まずは教室で講義および輪読を通じて概要を学び、そのあとで実際に体験できる場所に出かけて参与観察をするという授業でした。輪読は専門的な論文であったにもかかわらず、深く理解し、レジュメにまとめて、自分の言葉で説明することが、とてもよくできていました。エスニックタウンでの参与観察も、全員が事前に提出した計画書にしたがって現地調査と資料収集をおこない、最終回にすばらしい報告書を提出しました。この経験を、海外留学期間中の異文化体験にもぜひ活かしてください(^)/
海外文化事情 c	寺本 めぐ美	配布資料がより分かりやすいものになるように工夫する。
海外文化事情 e	久保田 佳枝	アンケートにご回答ありがとうございます。この科目は、今年度より開講された国際学部 の科目でしたが、履修者の9割以上が国際学部以外の方々であり、他学部の学生さんに興味を持って頂けたことを、担当者として嬉しく思います。今年はトランプ大統領の再就任とともに前大統領の政策を大きく転換させた時期と授業期間が重なったこともあり、授業にて多くの時事問題も扱いました。ほぼ毎日アメリカ事情が報道され、ニュース等を観て授業に参加する等、皆さんが意欲的に取り組んでいたと認識しています。コメントを拝見する限り、楽しく学べた授業であったようで、安心しました。この科目を通してアメリカに興味を持ち、さらに知りたいと思って頂ける授業でしたら、光栄です。ありがとうございました。

[2025（前期）国際学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
海外文化事情 f 水曜配信（渋谷）	三田 薫	アンケートから、皆さんが興味を持って授業に参加してくれたことがわかりました。また「オーストラリアの歴史や現状、文化について様々な視点で学ぶことができました。」「留学に行くので、とても楽しみになった。」「オーストラリアの食文化について毎回学びになることがたくさんあり、毎授業おもしろかったです。」「といったコメントから、内容を深く掘り下げ、理解を深めていったこともわかりました。今後も世界に関心を持ち、視野を広げていってください。
日本文化資源論 月曜配信（渋谷）	コルネーエヴァ, スヴェトラーナ	ご回答いただき、ありがとうございます。必修で、オンデマンドで実施された科目であり、回答からは、オンデマンド授業ゆえの取り組みづらさが見受けられました。 成長を実感したこととして「文化資源の守り方、技術の発達を知ることができた」や「いつもと違う角度からの日本文化に触れ、また違う考え方が身についた」、「日本文化資源論について学んだことがなく、知識がほとんどありませんでしたが、知識や理解が深まりました」という趣旨のコメントが多数寄せられた一方、「内容が難しい」という指摘もありました。今後の授業改善のための検討材料とし、工夫を重ねていきたいです。
民俗伝統芸能論	コルネーエヴァ, スヴェトラーナ	ご回答いただき、ありがとうございます。この選択科目では、歌舞伎や文楽のような主要な伝統芸能のみならず、地域の民俗芸能に目を向け、多様性と継承に注目した。受講生から、成長を実感した点として「日本の伝統芸能のそれぞれの違いと魅力について深く学べた」や「地域の踊りまで注目して学ぶことが出来た」などの意見が寄せられ、伝統芸能への理解が深まったことを嬉しく思います。 今後は動画視聴と講義部分のバランスを工夫しながら、深い学びに繋がるような授業を展開していきます。
日本語教育入門 b	大塚 みさ	自分の成績評価を除き、概ね平均4.8という結果になり、みなさんの真摯な取り組みの様子が伝わってきました。自由記述に寄せられた意見から、授業のねらいがしっかりと受講生に伝わっていたことがわかり、大変うれしく思いました。多文化共生に関する知識が増えたこと、日本語教育の重要性や汎用性を体感する機会となったこと、無知だったやさしい日本語について今では説明できるレベルになったことなど、授業の到達目標を大きく超える成果が得られたのはみなさんの主体的な取り組みによるものだと思います。グループワーク中心という授業形態、社会連携の機会なども好評でしたので、継続していきたいと思います。
日本文化事情 a	大塚 みさ	授業の理解度や満足度、意欲的な取り組みなど、概ね平均を上回っており、みなさんの真摯な取り組みの成果が感じられました。 講義部分については、若者ことばやバイト敬語への関心の深まったことが把握できました。また、後半のプレゼン演習について負担に感じていたのではないかと心配していましたが、「自ら学ぶ姿勢が身についた」「視野が広がった」「ためになった」「成長できた」といった声が寄せられうれしく思いました。 演習科目なので、受講生がより主体的に学べるよう、さらに工夫を凝らしていきたいと思います。
日本文化事情 b	コルネーエヴァ, スヴェトラーナ	ご回答いただき、ありがとうございます。回答からは、授業内容に興味を持って履修したという意欲が読み取れ、成長を実感したこととして「日本文化についての知識を増やすことができた」点や「今まで知らなかった日本文化について深く知ることができた」ことが挙げられ、履修生の期待にある程度答えることができて、安心しました。 課題の内容などを含め、今後も工夫しながら授業を展開していきます。
日本文化事情 c 木曜配信（渋谷）	野瀬 元子	本授業の内容、様々な資料映像から、日本の文化への新たな視点を持つことになったという履修生の感想がありました。一方で、もう少しわかりやすく説明してほしかったという履修生の感想がありました。各地方の文化や自然資源について取り上げる際に、身近な日本文化との関係を履修生の皆さん自身が考えられるように補足説明や問いかけを効果的に行うように工夫したいと思います。
地域社会論 金曜配信（渋谷）	寺本 めぐ美	配布資料がより分かりやすいものになるように工夫する。
社会統計学入門	九里 徳泰	14回のPCを用いた対面授業で充分統計学の概念と技術、そしてアンケート手法を理解できたと思います。また、毎回のレポートにもしっかり取り組み、最終レポートもグループで協働して完成度の高いレポートを提出しました。学んだことを3年生以降実際に使う機会を持ちましょう。
マーケティング概論 木曜配信（渋谷）	九里 徳泰	商学の中心的な授業であるマーケティング論は難しかったと思います。理解度は、理解できたと、時々理解できないに別れましたが、毎回のレポートを見る限り、難しい授業に取り組んでいる学生の姿勢がよくわかりました。マーケティングは実際に企業組織で毎日使われている技術です。また地域活性化でも活用することが可能です。継続してマーケティングマインドを持ち続けてください。

【2025（前期）国際学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
地域政策論	九里 徳泰	14回の対面授業で充分教科書の内容とその核心的な概念を理解できたと思います。また、毎回のレポートの完成度が高かったです。学んだことを3年生以降実際に地域で使う機会を持ちましょう。
ホスピタリティ論 金曜配信（渋谷）	武内 一良	10名の履修者のうち回答者が2名なので、アンケートが偏っている可能性は否めません。たった2名ですが回答者から肯定的な評価となっている点は、授業内容が学生のニーズと合致していたからかも知れません。
地域観光事業 a	王 川菲	アンケートありがとうございます。これからの授業づくりの参考にさせていただきます。
観光英語	グリーン, バーバラ	2名から双方向性に関するご意見をいただきました。実際にはディスカッションなどを取り入れていましたが、学生が双方向性を実感できるよう、次年度は授業内での活動をさらに充実させていきます。